

出張医学教育FD(松本市立病院)

【日 時】平成31年 1月31日(木)

【参加人数】 22名

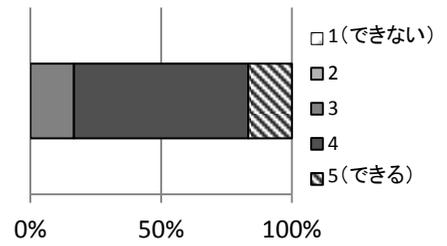
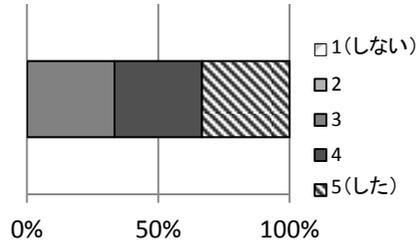
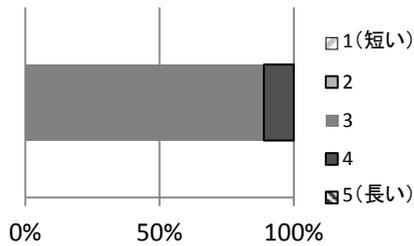
【講 師】多田 剛

【内 容】アセスメント(評価)の仕方

FDの開催時間はいかがでしたか。

FDはニーズにマッチしましたか。

学生の評価ができるようになりますか。



参加者の意見

学生に仕事をさせる事		
実際に指導していくポイントがわかりました。 具体例を挙げていただいたので。	よくわかりました。	
病棟業務の重要性		
学生に仕事をさせる事もっと実働できる場をつくること	Mini CEXを実際にできるか (やってみたいと思います)	
患者やスタッフとの交流を重要視していることがわかりました。		
学生に行わせて良い事がわかりました。	なし	
学生実習の内容について		
学生評価の仕方が良くわかりました。		今回の学生教育のお話とはズレますが、 高齢患者の移乗の仕方や手の差し出し方 なども教育して下さい。
今後、外来だけでなく、病棟業務にも学生 が参加できる仕組みを作りたいと思います	学生が出来る医療行為の範囲について、 改めて確認したいと思います。	
病棟の実習経験が不足していること、 常々感じていました。		
学生評価と指導について理解が深まりました。 ありがとうございました。		